

第 17 回学会発表奨励賞選考結果

日本コミュニケーション障害学会では、学術講演会で発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題を選考し、学会発表奨励賞を授与しております。第 40 回学術講演会で発表された演題の中から、厳正なる審査の結果以下の 2 件が第 17 回学会発表奨励賞に選考されました（敬称略，所属は発表時のもの）。受賞者には、来年の第 41 回学術講演会において学会より 5 万円の研究奨励金が贈呈されます。

荻布優子（横浜市リハビリテーション事業団）、川崎聡大（富山大学人間発達科学部）

児童の Rey 複雑図形テストの尺度構成の検討と書字との関連― 主成分分析結果に基づいた新たな採点法の検討―

酒井奈緒美（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）、森浩一（同）
吃音のある成人の評価法の開発― 質問紙試案の作成―